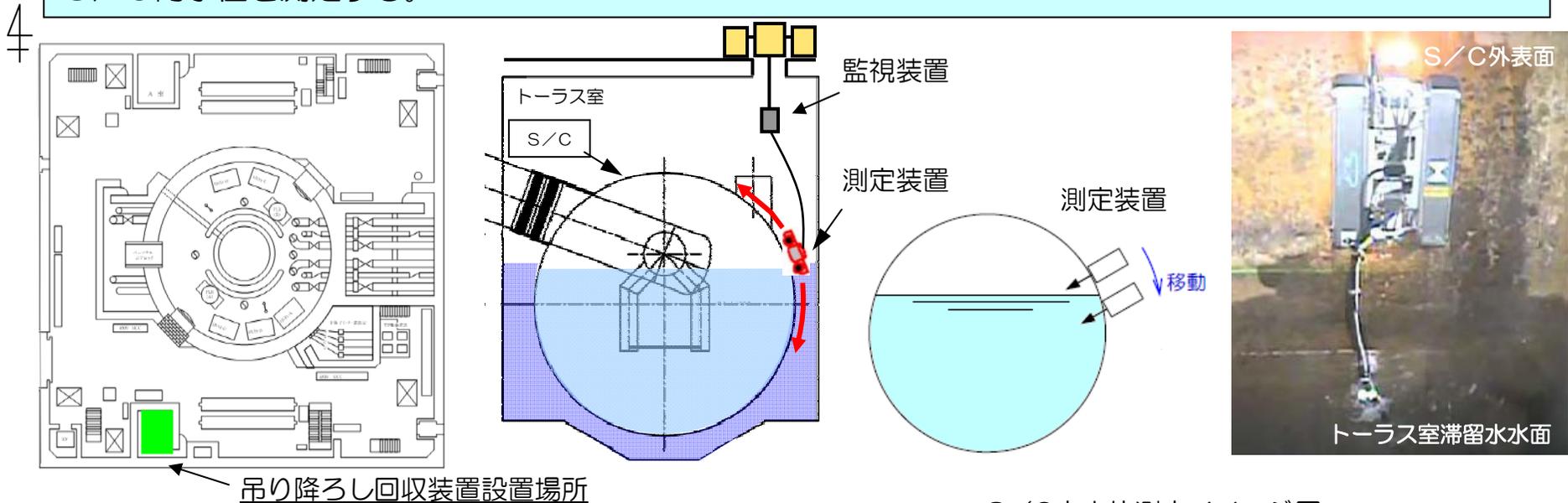


福島第一原子力発電所 2号機S/C (サプレッションチェンバ) 内 水位測定結果

< 参考配布 >
平成26年1月21日
東京電力株式会社

1. 測定方法

「S/C内水位測定WG (主査：芝浦工大 松日楽教授)」にて開発支援された水位測定装置を用いて、トラス室へ貫通しているRHR熱交換器 (B)室の床穴から、水位測定装置をS/C外表面に吊り降ろし、S/C内水位を測定する。



吊り降ろし回収装置設置場所
(2号機原子炉建屋1階 RHR熱交換器 (B)室)

S/C内水位測定イメージ図

【補足】資源エネルギー庁の「円筒容器内水位測定のための遠隔基盤技術の開発」にて開発した測定装置の実証試験として、2号機のS/Cの水位測定を実施。

	1月												
	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
実績		測定準備				測定				評価			

(参考) 実績工程

2. 測定結果

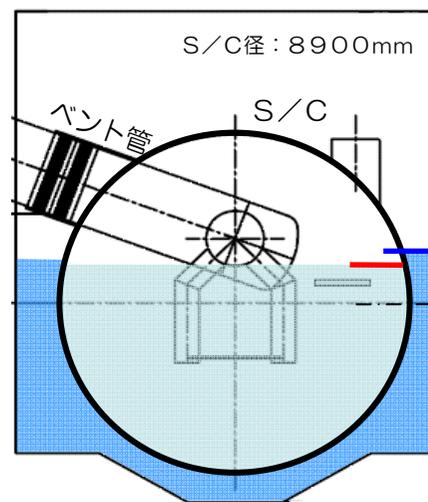
測定データ採取は、水位特定の信頼性を上げるため複数ライン（複数経度）を1月14～16日の3日間で実施。1月14、15日のデータは一連のデータ採取作業の途中で得られたもの。

測定日	1月14日	1月15日	1月16日
S/C内水位	約OP3, 210 mm	約OP3, 160 mm	約OP3, 150 mm
トラス室滞留水水位 (参考)	約OP3, 230 mm	約OP3, 190 mm	約OP3, 160 mm
水位差	約20mm	約30mm	約10mm
測定方法	水中構造物の直接距離計測		

【補足】 S/C内の水位は、トラス室滞留水水位の変化の影響を受けると考えられる。



測定時の状況



2号 原子炉建屋1階床レベル
OP10, 200mm

S/C赤道 OP1, 900mm

2号 原子炉建屋地下1階（最下部）
OP-3, 360mm

S/C内水位の測定結果については、今後の原子炉格納容器（PCV）止水工法の検討に活用していく。